

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																									
ET46J023		臨床心理実習B (Practical Training in Clinical Psychology IV)					臨床心理学																									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																										
選択	2	2	大学院教育学研究科			氏名 武内珠美・古賀精治・渡辺亘・佐藤晋治・溝口剛・河野伸子・池永恵美 E-mail wwata@oita-u.ac.jp 内線 7585																										
授業の概要	心理教育相談室において具体的な心理支援実践を学ぶ。特に、行った心理支援や検査について、スーパービジョンやカンファレンスなど、多様な指導を受け、心理学的理解や支援の実践に関して、より適切で高度なスキルを身につける。また、自らの課題を発見し、その解決に向けて取り組みを重ねる。																															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10												
目標1 心理支援や検査の実施について、より高度で実践的な内容を身につける。																																
目標2 対象者の状態や問題の性質、置かれた環境の特徴などを総合的に検討し、真に必要な支援について考えることができる。																																
目標3 連携やチームアプローチについて具体的に理解することができる。																																
目標4 自らの課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。																																
目標5																																
目標6																																
目標7																																
目標8																																
目標9																																
目標10																																
授業の内容																																
1 オリエンテーション(指導の意味とシステム)																																
2 アセスメント・見立てに関する指導1(電話対応)																																
3 アセスメント・見立てに関する指導2(面接)																																
4 アセスメント・見立てに関する指導3(心理検査)																																
5 心理面接に関する指導1(導入)																																
6 心理面接に関する指導2(展開)																																
7 心理面接に関する指導3(終結)																																
8 心理面接に関する指導4(助言、指導、ガイダンス)																																
9 チームアプローチに関する指導																																
10 他職種連携・地域連携に関する指導																																
11 事例検討1(事例発表)																																
12 事例検討2(事例検討)																																
13 経験者による支援実践への陪席																																
14 自らの課題に気づく																																
15 まとめ																																
ラ ア イ ニ テ ン ィ グ	A:知識の定着・確認	B:意見の表現・交換										C:応用志向										D:知識の活用・創造										工 夫 そ の 他 の
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	担当ケースの問題の見立てや支援方略の策定に関連した調べ学修。左記調べ学修及び担当ケースの状態等に基づく、問題の見立てや支援方略の策定。使用する可能性のある心理検査の実施法の修得。その他、実習において指示する。(1回あたり120分)																														
	事後学修	各セッションにおけるケース記録。心理検査報告書。その他、実習において指示する。(1回あたり120分)																														
教科書	実習において指示する。																															
参考書	実習において指示する。																															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																				
	上記(授業の内容の項)に関する取り組み	50%																														
	最終レポート	25%																														
	口頭試問	25%																														
注意事項	本実習の受講は、臨床心理学コースの大学院生で、臨床心理士受験資格取得のための必修科目(一年次開講のもの)について全ての単位を取得したものに限る。																															
備考	本科目は臨床心理士受験資格取得に関する必修科目である。臨床心理士受験資格取得のための必修科目については、別に配付する資料に基づいて履修すること。																															
リンク																																
	URL																															